

議案第 2 号

八雲町地域公共交通計画の一部を次のとおり改定する

新

P28

5

本計画の KPI・目標値

5－1＜観点 1＞地域交通軸と拠点の充実・保証

（2）【地域交通軸にあたる路線の利用者数】の考え方・測定方法

(1) 【地域交通軸にあたる路線の利用者数】の考え方・測定方法

地域交通軸である下記の路線について、1 年間の利用者数を KPI・目標値として設定します。

下記の数値については、交通事業者等が公表している数値に基づき、測定します。

また、国の補助を受けて運行している路線（バス路線）については、国の制度に基づき、年度ごとに利用者数を確認しながら、交通サービスがどの程度使われているかを把握し、目標の達成状況を確認していきます。

なお、「JR 北海道 函館本線」については、函館線区における「函館～長万部」の輸送密度で測定することとします。

また、「函館バス 731 系統（瀬棚-八雲）」については、令和 7 年 10 月より、運行を開始しており、年間の利用実績が蓄積されていないため、計画推進期間中に改めて設定することとします。

路線・系統名	現状値	目標値
JR 北海道 函館本線（函館-長万部）	3,354 人/キロ/日	3,354 人/キロ/日
函館バス 310 系統（函館-長万部）	78,184 人/年	78,184 人/年
函館バス 624 系統（江差-熊石）	35,562 人/年	35,562 人/年
函館バス 731 系統（瀬棚-八雲）	計画推進期間中に測定	計画推進期間中に設定
予約バス熊石八雲線（※）	5,301 人/年	5,301 人/年
予約バス檜山海岸線（※）	5,441 人/年	5,441 人/年

（※）：当該指標の数値については、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の報告値と整合を図っています。

旧

P28

5

本計画の KPI・目標値

5－1＜観点 1＞地域交通軸と拠点の充実・保証

（2）【地域交通軸にあたる路線の利用者数】の考え方・測定方法

(1) 【地域交通軸にあたる路線の利用者数】の考え方・測定方法

地域交通軸である下記の路線について、1 年間の利用者数を KPI・目標値として設定します。

下記の数値については、交通事業者等が公表している数値に基づき、測定します。

また、国の補助を受けて運行している路線（バス路線）については、国の制度に基づき、年度ごとに利用者数を確認しながら、交通サービスがどの程度使われているかを把握し、目標の達成状況を確認していきます。

なお、「JR 北海道 函館本線」については、函館線区における「函館～長万部」の輸送密度で測定することとします。

また、「函館バス 731 系統（瀬棚-八雲）」については、令和 7 年 10 月より、運行を開始しており、年間の利用実績が蓄積されていないため、計画推進期間中に改めて設定することとします。

路線・系統名	現状値	目標値
JR 北海道 函館本線（函館-長万部）	3,354 人/キロ/日	3,354 人/キロ/日
函館バス 310 系統（函館-長万部）	78,184 人/年	78,184 人/年
函館バス 624 系統（江差-熊石）	35,562 人/年	35,562 人/年
函館バス 731 系統（瀬棚-八雲）	計画推進期間中に測定	計画推進期間中に設定
予約バス熊石八雲線（※）	4,743 人/年	5,430 人/年
予約バス檜山海岸線（※）	5,133 人/年	5,133 人/年

（※）：当該指標の数値については、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の報告値と整合を図っています。

新

P33 5 本計画のKPI・目標値

5－3＜観点3＞持続可能性・実現可能性の確保

(1)【地域交通の収支率・公的資金投入額】の考え方・測定方法

(1)【地域交通の収支率・公的資金投入額】の考え方・測定方法

R6年度の八雲町決算書や地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に係る提出資料等に基づき、地域交通サービスに要している収支率・公的資金投入額を現況値として設定します。

また、計画推進期間中、毎年度の決算書等から進捗状況を測定します。

なお、計画推進期間中に、交通空白地域を対象に新たな地域交通サービスの運行を予定しているため、地域交通の公的資金投入額の目標値については、新たな地域交通サービスの本格運行の開始以降に、設定することとします。

地域交通サービス等	現状値	目標値
函館バスの維持に係る経費	8,751 千円	8,751 千円
檜山海岸線の収支率（※）	3.6 %	3.6 %
檜山海岸線の公的資金投入額（※）	18,270 千円	18,270 千円
熊石八雲線の収支率（※）	20.8 %	20.8 %
熊石八雲線の公的資金投入額（※）	15,083 千円	15,083 千円
交通空白地域で運行する新たな地域交通サービスに係る運行経費	計画推進期間中に測定	計画推進期間中に設定
経費・公的資金投入額の合計	41,310 千円	計画推進期間中に設定

（※）：当該指標の数値については、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の報告値と整合を図っています。

旧

P33 5 本計画のKPI・目標値

5－3＜観点3＞持続可能性・実現可能性の確保

(1)【地域交通の収支率・公的資金投入額】の考え方・測定方法

(1)【地域交通の収支率・公的資金投入額】の考え方・測定方法

R6年度の八雲町決算書や地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に係る提出資料等に基づき、地域交通サービスに要している収支率・公的資金投入額を現況値として設定します。

また、計画推進期間中、毎年度の決算書等から進捗状況を測定します。

なお、計画推進期間中に、交通空白地域を対象に新たな地域交通サービスの運行を予定しているため、地域交通の公的資金投入額の目標値については、新たな地域交通サービスの本格運行の開始以降に、設定することとします。

地域交通サービス等	現状値	目標値
函館バスの維持に係る経費	8,751 千円	8,751 千円
檜山海岸線の収支率（※）	2.9 %	3.0 %
檜山海岸線の公的資金投入額（※）	17,933 千円	17,933 千円
熊石八雲線の収支率（※）	20.4 %	16.7 %
熊石八雲線の公的資金投入額（※）	14,626 千円	15,691 千円
交通空白地域で運行する新たな地域交通サービスに係る運行経費	計画推進期間中に測定	計画推進期間中に設定
経費・公的資金投入額の合計	41,310 千円	計画推進期間中に設定

（※）：当該指標の数値については、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の報告値と整合を図っています。